

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 瀬戸市のまちづくりを瀬戸市都市計画マスタープランから検証する。 【質問趣旨】 「しごと」「ひと」「まち」の好循環。「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が新たな「しごと」を創り出す。この好循環を持続するために「まちづくり」が必要となる。地域に魅力的で安定した仕事があると、人々が定住し、移住のきっかけとなる。そして、人が集まると、地域の活力が高まる。仕事と人が集まることで、まちが賑わい、インフラの充実に繋がり、住みやすいまちづくりが推進され、持続可能なまちづくりの成長戦略が実現される。	(1) 瀬戸市都市計画マスタープランの趣旨と役割について (2) 瀬戸市都市計画マスタープランの進捗について	① 瀬戸市都市計画マスタープランは、第6次瀬戸市総合計画にある「住みたいまち、誇れるまち、新しいせと」を将来像として、市民にとって暮らしたいまち、企業にとって活動したいまちを目指し、長期的な都市計画の姿の実現に向けた計画であると認識しているが、この他に都市計画マスタープランが担うべき、趣旨と役割について伺う。 ② 都市計画マスタープランの目標年次は、令和8年度とされている。目標年次まで残り2年弱となった都市計画マスタープランの総括、振り返りをどのように行い、次期都市計画マスタープランにどう活かしていくのか伺う。 ③ 近隣自治体においては、都市計画マスタープランの進捗確認、年次報告を毎年度行っている自治体もある。本市においては、どのように進捗確認を行っているのか伺う。 ① 都市計画マスタープラン第3章3-5都市整備の方針において、1 土地利用の方針として、10のゾーンに分けて土地利用の方針が示されている。そのうちいくつかのゾーンについて確認していく。まずは、土地利用誘導ゾーン（住宅系）である中水野駅周辺の現状と進捗について伺う。(図①) ② 続いて、土地利用誘導ゾーン（産業系）である、八床町（図②）、せと赤津インター西側の門前町周辺（図③）、同じくせと赤津インター西側鐘場町、惣作町周辺（図④）、川合町のうち県道設楽線沿いの県有林（図⑤）、幡中町のデジタルリサーチパーク周辺（図⑥）の現状と進捗を伺う。(図②③④⑤⑥)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
今回は、「しごと」を産業系、「ひと」を住宅系、「まち」をインフラの視点から、瀬戸市都市計画マスタープランに沿って伺う。	(3) 次期瀬戸市都市計画マスタープランの策定について	③ 土地利用検討ゾーンである、上陣屋町、西印所町の窯業資源採掘跡地 (図⑦)、暫定用途地域が設定されていた品野中部地区 (図⑧)、赤津南地区 (図⑨) の現状と進捗を伺う。(図⑦⑧⑨) ④ 同じく第3章3-5都市整備の方針において、道路施設・公共の整備方針図には、環状道路 (内環状・外環状) の記載があるが、環状道路の整備方針と現状の進捗について伺う。 ① 市民にとって暮らしたいまちを目指しているのに、人口減少傾向であることは本市の課題と認識しているが、同様に企業にとって活動したいまちを目指しているのに、企業を誘導できる土地がないことは、本市の課題と考える。次期都市計画マスタープラン策定にあたり、この課題に対しどのような対応を考えているのか、見解を伺う。 ② 次期瀬戸市都市計画マスタープランの策定にあたり、新たな土地利用誘導ゾーン (産業系) をどのように定め、具体的な候補地があるのか伺う。 ③ 東海環状自動車道のせと品野インター・せと赤津インターが市内にある強みを活かして企業の誘致を行っていくべきと考えるが、都市計画マスタープランの観点から、穴田企業団地北側の山林 (図A) 及び旧祖母懐小学校南側山林 (図B) について、見解を伺う。(図A B)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		④ 名古屋瀬戸道路長久手インターチェンジが本市に近接している強みを活かして企業の誘致を行っていくべきと考えるが、都市計画マスタープランの観点から愛知県陶磁美術館周辺の県有林について、見解を伺う。(図C) ⑤ 都市計画マスタープランにおいて、土地利用検討ゾーンとなっている、窯業資源採掘跡地についても、企業誘致等の候補地とすることも可能と考えるが、土地利用誘導ゾーン（産業系）として、位置づけることについて、見解を伺う。(図⑦) ⑥ 都市計画マスタープランにおいて、森林環境ゾーンとなっている、山路町周辺についても、森林環境の保護、水源地の保護も鑑み、引き続き森林環境ゾーンとすべきと考えるが、見解を伺う。(図D)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 次期瀬戸市都市計画マスタープランの今後の展望と期待するニーズについて	① 次期都市計画マスタープランを策定する中で重要なのは、「今後の瀬戸市に求められるニーズ」の整理と考える。現状と課題について整理し、瀬戸市の将来像と目指すべきまちの姿について策定すべきと考えるが、見解を伺う。 ② 近隣自治体では都市計画マスタープランの策定に際し、市民とのワークショップと題して市民からの様々な意見を聴取したうえで策定していると聞いているが、見解を伺う。 ③ 現代の都市計画マスタープランはつくりっぱなしではなく、育て続ける時代であり、中間報告や改訂プロセスは、市民参加型まちづくりの絶好の機会である。次期都市計画マスタープランは、中間報告や進捗管理、改訂を行うことが、重要なプロセスと考えるが、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2. 今日からできるスタートアップ企業支援を考える。 【質問趣旨】 内閣府地方創生推進室より令和7年4月1日付にて決定された、第2世代交付金交付対象事業（新規事業）として本市事業が採択された。交付対象事業名と、「R e 瀬戸オープンイノベーションプロジェクト～伝統都市から未来都市 瀬戸へ～」について。事業内容としては、スタートアップ企業との連携強化による生産性及び付加価値の向上事業と認識している。本市が抱える様々な課題を解決し、どのような形で地域経済活性化に繋げていくのか方策を伺う。	(1) 本市が考えるスタートアップ企業概念について	① 製造業における企業誘致を検討するにあたっては、瀬戸市都市計画マスタープランの土地利用誘導ゾーン（産業系）の土地を最初に検討すべき事項であると考えます。革新的なビジネスモデルを持つスタートアップ企業への支援の拡大は、今日からでもできる分野であると考えます。本市は、スタートアップ企業に対しIT・スタートアップ企業等進出支援制度としてオフィス賃料の補助や雇用した正社員のための奨励金含めて、支援をしていると考えるがその効果と補助金等の実績について、見解を伺う。 ② 昨年名古屋市にオープンした日本最大級のスタートアップ支援拠点 S T A T I O N A I との連携も必要と考えるが、見解とその効果を伺う。 ③ 地域発のスタートアップ企業は、インキュベーション施設を中心とする地元企業や自治体との連携が期待されるが、可能性とK P I、見解について伺う。 ④ 近隣自治体では起業環境の整備として、新たな付加価値を生み出して地域経済の発展に貢献することを目的として、インキュベーション施設の入居者の募集を開始しているが、本市でのインキュベーション施設提供の可能性について見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。